

追補

search.cpan.org で検索可能でありながら、『Acme 大全 2009』にて取り上げていない 7 Acme (2009 年 7 月時点) について補足する。これで 315+7 モジュールということになった。

なお、今回このモジュールが掲載できなかったのは、リスト化に利用した 02packages.details.text にこのモジュールが含まれていなかったためである。謹んでお詫びしたい。っていうか、なんで入ってないの？*

まかまか般若波羅蜜 (どんぞこ楽屋) 2009 年 9 月

Acme::DarmstadtPM::TieHash

0.3 (RENEEB)

Darmstadt.PM 発のモジュール

ドイツの Darmstadt.PM のメーリングリストに Ruby のコードが送られた。そしてこれは Perl にはできないだろうと言われた。それに対して Perl でもできることを示すために書かれた。と、ドキュメントにはある。

名前の通り Tie モジュールであり、コードリファレンスと関連付けることで、値を Fetch するときコードが実行される。

* どうもディストリビューション名と package で宣言されている名前とが一致していないと、02packages.details.text に含まれないようにみえる。そうでないものもあるが、よくわかりません><

Acme::Isnt

0.01 (APEIRON)

ISA でない。

```
use Acme::Isn't;  
use JSON;  
my $obj = JSON->new();  
print "isn't." if $obj->isn't('YAML');
```

UNIVERSAL::isa の逆。Acme::Don't からインスピレーションを得ているとあるが、ディストリビューション名も Acme::Isn't にしてくれていたら、この追補にいれずにすんだだろう…… →Acme::Don't

Acme::Nada

0.01 (JV)

Does nothing for everybody

ドキュメント無し。ソースコードに `package` 宣言なし。ただ 1 と書かれている。README にて下記参照とのこと。

<http://www.bernardbelanger.com/computing/NaDa/index.html>

人々の生活に影響を与えない非常に軽い (1byte) ソフトウェア。

Acme::NewMath

0.01 (STEVIEO)

$2+2=5$

上の説明につきる。 $2+2$ を 5 にするモジュール。あくまで $2+2$ のみ。ゆくゆくは、 0 による除算や、低温核融合、停止性問題、おんにゃの子にモテモテになる秘密などの解決にまで発展するとのこと。

何がこの作者にそうさせたのか*?

Acme::PM::Dresden

0.10 (SCHWIGON)

教育の目的でつくられた

とあるので、あとはドキュメント参照されたし。

Acme::Tiny

0.4 (DMUEY)

Tiny な Acme

モジュール Acme の Tiny 版。Tiny とは何か。'::Tiny'を提唱した Adam Kennedy によれば、広く普及している有用機能の一部を提供する、軽量に実装されたモジュールにつける接尾語である[†]。

* Radiohead の $2+2=5$ からか?

<http://www.amazon.co.jp/2-5-Radiohead/dp/B0000EWO82>

次も参照。http://en.wikipedia.org/wiki/New_Math

[†] 下段は下記サイトから引用、翻訳。

<http://www.nntp.perl.org/group/perl.datetime/2007/01/msg6584.html>

- 1.出来るだけ少ないコードで実装するべし
- 2.便利な機能のサブセットを実装するべき
- 3.少なくともメモリ使用量を 10%減、理想としては 100kb 以下にすべし
- 4.CORE（標準）モジュール以外に依存してはならない
- 5.ひとつの.pm ファイルに収めなければならない
- 6.少なくとも Perl5.0004 で動作するべき
- 7.正しく実装できないぐらいなら、その機能は捨てるべし
- 8.可能であればでかい方のモジュールと互換性を保つべし

メモリをほとんど消費せずに*本家 Acme の有用な機能、VERSION と isa を提供する。→Acme

Acme::Uenicoede

0.051 (SCHWIGON)

どこまで Unicode 効くのかな？

use utf8 がどこまで効くのかという問題関心のためにつくられたモジュール。本当の名前は Acme::Ünicöde。とりあえず無事 Web 上にはあがっている†。

```
use utf8;
use Acme::Ünicöde;
Acme::Ünicöde::hello_wörld();
```

* しかしまだ軽量化できるとレビューワーに突っ込まれてたりする（それに対してはドキュメントで応答している）。

† <http://cpansearch.perl.org/src/SCHWIGON/Acme-Uenicoede-0.0501/lib/Acme/>